

1 事業概要

		課名	子育て支援課	事業No.	122
		会計	一般会計		
事務事業名		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	H31
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
			9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する	
	分野別計画			子育て応援プラン	
				男女共同参画計画	
法令・例規等			児童福祉法、子ども・子育て支援法、児童の虐待防止等に関する法律		
			男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法		
事業目的		対象	子育て中の家族		
		意図	閉じこもりがちな子育て家庭を地域による子育てに転換することで孤立化が防止される。地域に家庭育児に関する相談や援助を実施する環境を整えることで、子育てが安定し家庭での養育力が向上する。		

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)
		担当課との連携により子育て応援プランに沿った事業の展開を図ることができました。一時的に育児をサポートするファミリーサポート事業では、ひとり親世帯を対象に利用料の半額を補助する制度を開始しました。 乳幼児親子が集う子育て拠点施設の運営や主任児童委員等による赤ちゃん訪問により、地域内に身近な相談や援助を実施する環境を整え安心した養育が行えるよう取り組みました 児童虐待や発達相談などは子育て支援ネットワークが相談窓口となり、支援等が必要な家庭に対しては家庭訪問や一時預かり等を実施し、ニーズに沿った内容により関係機関と連携し社会資源を活用できるよう取り組みを実施しました。	ファミリーサポートセンター運営事業	6,930				
		養育支援事業	5,040					
		子育てのまちづくり支援事業	641					
		次世代育成支援行動計画推進事業	2,295					
		事業者子育て応援推進事業	367					
		地域子育て支援拠点事業	55,453					
		地域特別保育事業	720					
		その他の経費	0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	ファミリーサポート活動実施件数	件	914	1,187				
	家庭訪問数(0歳児数)	数	822	827				
	つどいの広場述べ利用者数	人	47,584	41,923				
	ワークライフバランスセミナー参加事業所数	件	48	82				
	地域で主体的に行う特別保育の数	地区	2	2				
29年度決算(千円)	予算額	79,412	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	71,446	(国) 子ども子育て支援交付金(1/3) 25,229千円	(県) 子ども子育て支援交付金(1/3) 25,229千円	(そ) 子育て短期支援事業保護者負担金 316千円	(そ) 地域子育て支援寄附金 310千円		
	財源の状況	国庫支出金	25,229					
		県支出金	25,229					
		地方債	0					
		その他	626					
一般財源	20,362							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	8	11	1	7,431	6,930	ファミリーサポートセンター運営費
2	1	3	2	8	11	2	9,512	5,040	養育支援事業費
3	1	3	2	8	11	7	645	641	子育てのまちづくり支援事業費
4	1	3	2	8	11	8	3,538	2,295	次世代育成支援行動計画推進事業費
5	1	3	2	8	11	9	593	367	事業者子育て応援推進事業費
6	1	3	2	8	12	1	57,093	55,453	地域子育て支援拠点事業費
7	1	3	2	8	12	3	900	720	地域特別保育事業費
振り返り課題認識		飯田市ファミリー・サポート・センター事業を利用されるひとり親世帯を対象に、利用料補助事業がH30年1月から始まり、援助が必要などきに無理なく育児援助を受けるため、多くの依頼会員の方に制度を知っていただくとともに有効な周知方法が必要です。また、子育て拠点施設などの身近にある社会資源を利用できない人達について、利活用していただけるようPR方法の工夫が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		子育て支援を必要とする世帯等に対し、身近にある社会資源についての制度内容や事業目的について、行政や関係する事業者が協力しチラシ等を利用するなどしてよりわかりやすく周知する必要があります。 子育て情報誌みんな子育てナビや子育てネットホームページの発信、乳幼児学級や保健師からの発信が有効です。							
次年度に向けての取り組み		事業の概要などをより具体的に示し、わかりやすい内容としてチラシを作成し該当者へ配布します。 子育てネットホームページのリニューアルを実施し、よりわかりやすく楽しんでいただけるような内容で子育て情報を発信します。							